
Apache Antについて

Javaツール勉強会@福岡 2015/11 吉村 武志



- 自己紹介
- 吉村 武志
- 福岡周辺の勉強会に
ちよくちよく参加して
togetterまとめたりしてる人
- Javaの勉強会やってますが、
仕事はClassic ASP & VB.Net
- 趣味は音ゲーとかアナログゲーム（ボードゲーム・TRPG）





Apache Antについて (教科書知識)

- Apache プロジェクトで開発されているJavaベースのビルドツール
- <http://ant.apache.org/>
- 最新版はApache Ant 1.9.6 (Jul 2, 2015)
- XML文書でビルドルールを書くのが特徴

さて、Antの説明をする前に
Antなどのビルドツールが一切無い
世界を考えてみましょう

ソースコードを書いた後、
Javaで何がやりたいか
(開発者寄りに)考えてみましょう

Javaで何をやりたいか？

- コンパイルしたい！ → `javac`
 - コンパイルしたclassファイルを実行したい！ → `java`
 - テストしたい！ → `junit`等 + `java`
 - classファイルをまとめたい！ → `jar`
 - APIマニュアルを作りたい！ → `javadoc`
-

ビルドツールが無かったら？

- 先ほどのjavacなどのコマンドを全て手で実行？
→さすがに.batや.shを作る
 - .batや.shってことは？
→Javaは「Write Once Write Anywhere」なのに
開発が環境依存？
 - ほとんどが同じclasspathなのにそれぞれ書くの？
-



Antが解決したこと

- ビルドのルールをXMLで書く事で、環境依存を吸収
 - ビルド用のXMLに『タスク』を記述する事で、やりたいことの『タスク』を指定すれば実行できるように
- 例) `ant build` ⇒ ソースコードをコンパイルしてjar化
`ant test` ⇒ ソースコードをコンパイルしてjunit実行
これらをbuild.xmlに集約して記述できるように



というわけで使い方



Antを使うには

- Java SEをインストールしておく
 - Antをインストール（Zip展開）しておく
 - 環境変数を設定しておく（JAVA_HOME、ANT_HOME、PATH）
 - ビルド用のXML（通常build.xml）を作成する
-



ではFizzBuzzなソースを
コンパイルして実行してみます。



という訳で伝えたい事

- Antをとりあえず使うのは簡単
- Antのbuild.xmlの作成は面倒
- がっつり使う必要が出てきたら頭抱えてください
- mavenとgradleについて教えてください